

# 2022年11月に視察へ行った企画担当者が回答する



※以下の写真はすべて2022年11月視察時撮影です

**Q** 今回のツアーを企画しようと思った理由は？

**A** 「シロクマを見るツアー」は過去にスピッツベルゲン島（スヴァールバル諸島）のクルーズツアーを何度か企画してきました。野生のシロクマとの遭遇は営巣地がある南極のペンギンよりも見つけるのが大変な分、とても感動的で、「もっとシロクマを見たい」という欲求が出てきます。お客様から、他の場所でもシロクマを見てみたい、もっと近くで見たい、長い休みが取れない、などのお声をいただき、チャールルのシロクマツアーに目がとまりました。数年前にシロイルカの季節に行き「夏のチャールルの旅」を企画し、添乗しましたが、シロクマの数は季節的に少なかつたので、「シロクマの秋の大移動」の季節にぜひリベンジしたいと思い、今回企画しました。スピッツベルゲン島は最低でも日本から12日間以上は必要ですが、チャールルならコンパクトな日程で行けるのも魅力です。



シロクマガイドと企画者小泉

**Q** 北極圏のスピッツベルゲン島で見られるシロクマとは何が違うのですか？

**A** スピッツベルゲン島をはじめ、チャールル以外の場所では、シロクマは広域に散らばっており、母グマと子グマ以外は基本的に単独行動となります。それに対し、チャールルでは、世界でも珍しいシロクマの集結が見られます。海が凍結し始める最初の3週間のみには見られない貴重な光景です。シロクマ同士が挨拶したり、じゃれ合う（スパウリングス）姿もチャーチ



シロクマ同士のじゃれ合い

ルならではの風物詩です。またスピッツベルゲン島でシロクマを見る際は主に母船またはゾディアックボートからとなるため距離がありますが、このツアーではハイキング中、ロッジの窓や敷地内から、そしてツンドラバギーからとシロクマを見るチャンスは様々あり、スピッツベルゲン島とは異なったシチュエーションでお楽しみいただけます。

**Q** 「シロクマ・ハイキング」ほどの程度の歩行レベルが必要ですか？

**A** 日常生活の歩行に問題がない「健脚の方向け」となります。ハイキングは、宿泊ゲスト全員（最大16名）が1つのグループで行動します。安全上、全員がまとまって歩きながら、この1グルーブをシロクマよりも大きな物体として見せる必要があるため、途中、別行動で引き返すことができません。1回のハイキングは約2〜3時間、午前と午後1回ずつあります。歩く距離は、天候や動物の状況によって異なります。あるときは数km歩いて動物に出会うこともあれば、ロッジのすぐ傍で遭遇することもあります。視察時、大雪の翌日は雪が積もって歩いて歩くのが大変な日もありました。ハイキングをせずに、ロッジに残るという選択も可能です。時には、ロッジに残ったゲストの方が「動物の幸運に恵まれた」となっていることもあるようです。



一列に並んでハイキング

**Q** オーロラを見るチャンスはありますか？

**A** チャールルはオーロラベルト直下に位置するので、晴れていればオーロラ観賞のチャンスがあります。ダイヤモンド湖畔のロッジ滞在中は、街明かりがない自然の中なので、移動せずにロッジから観賞することができます。視察時は3泊中、2晩曇り、晴れた1日は満月でしたが、綺麗なオーロラを観賞することが

できました。また、奇跡的に、オーロラが舞う空の下を歩くシロクマを同時に見ることができました。現地のガイドさんもあり見たことがない珍しい光景だったようです。



奇跡のシロクマとオーロラ

**Q** シロクマは必ず見られますか？

**A** ツアーは例年シロクマが見られるシーズンに設定しておりますが、野生動物のため、残念ながら確約はできません。気温が下がると、ハドソン湾の凍結を待つシロクマがチャールル付近に集まると、凍結が進むと、海水を渡って海へ出るため、チャールルを離れていきます。この期間がシロクマに出会えるチャンスとなります。気候変動の影響で時期が前後にずれ込むこともあるため、今回のツアーは遭遇率の高いシーズンの真ん中に設定しました。2022年の視察時は、例年よりも温暖でシロクマの移動は遅めのスタートでしたが、11月初旬の同時期、小型飛行機からや遠望も含めて、4日間で合計24頭のシロクマと出会いました。比較的幸運なツアーだったようです。このツアーではツンドラバギーのシロクマツアーも組み合わせていますので、広範囲に渡ってシロクマに出会うチャンスがあります。万一シロクマが出現しなかった場合でも、旅行代金のご返金はありませんので予めご了承ください。



今回のベストショット

**Q** シロクマの聖地に宿泊して危険はないのですか？

**A** ロッジはシロクマが侵入してこないように、フェンスに囲まれていますのでご安心ください。安全上の理由からフェンスの外に単独で出ることは禁止されています。

**Q** チャールルのシロクマツアーの旅行代金はなぜ高いのですか？

**A** その答えを紐解くべく、現地でもリサーチしてきた結果、複数の理由が重なっていることがわかりました。

- ①希少価値が高い人気の旅行である。シロクマの大移動は年間約3週間だけの期間限定です。またホテルの部屋数も非常に少ないため、ツアーはすぐに満席になります。
- ②町の主な観光収入源はシロクマシーズン。チャールルは観光業で成り立っている町ですが、年間でも僅か3週間、町やシロクマの保護活動を支える費用を稼がないといけません。
- ③チャールルまでの国内線が高い。チャールルは、マニトバ州の州都ウィニペグから約1000km離れており、道路がなく、週4回の飛行機または週2便の2泊3日の列車しか交通手段がありません。シーズン中は非常に需要が高いため、チャールルの国内線代は東京〜バンクーバー間往復の値段とほぼ同じぐらいです。
- ④チャールルの物価が高い。道路がないため、運ばれてくる物資や人件費に高額な交通費や輸送費がかかるので、町全体の物価が非常に高いのです。
- ⑤雪上飛行機でアクセスするロッジに滞在。今回のツアーは、町から専用小型飛行機を使って移動するエコロッジに宿泊するため、町中のホテルよりも宿泊費が高くなります。
- ⑥シロクマハイキングツアーの安全管理。安全にツアーを運行するためにガイドの人数確保やトレーニングが必要となります。

以上が旅行代金が高い主な理由です。この価格帯から何年も企画に踏み込めませんでした。実際に視察でツアーに参加した感想は、「決して豪華なホテルに宿泊する旅ではないが、それ以上に感動や価値がある特別な体験である」ということです。同ツアーに参加した他の旅行者達も満足度が非常に高かったため、企画に踏み込みました。